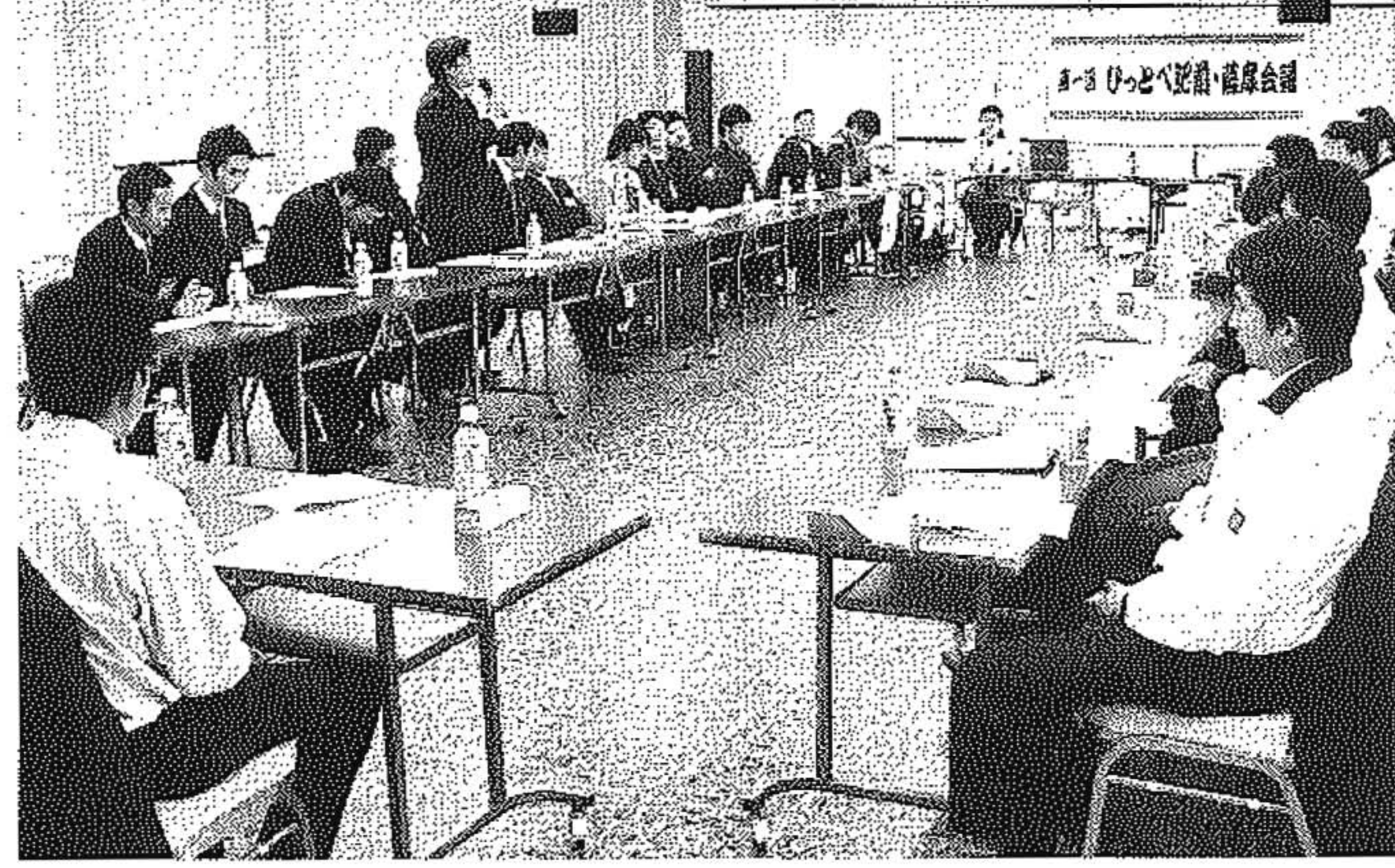


県ビルメン協会青年部と佐賀県青年部が意見交換

協力した活動展開を

県ビルメン協会青年部(森田直樹部長)は14日、鹿児島市のNCサンプラザで、佐賀県青年部(飯塚博昭部長)と「第1回 ひつとべ・肥前・薩摩会議」を開き、両県の青年部会員の

第1回 ひつとべ、肥前・薩摩会議



活発な意見交換が行われた会議
＝鹿児島市のNCサンプラザで

ら約40人が出席し、今後の活動の在り方などについて活発な意見交換を行った。会では初めに、出席者全員の自己紹介が行われた後、「青年部活動のあり方」「指定管理者制度の現状」の2つのテーマに沿って協議。このうち、活動の在り方では、飯塚部長が本県青年部の歴史や活動、役割などについて説明し、ビルメン業界を取り巻く動きに敏感に反応し、親会へ広める役割を担っている。また、他業種・地域社会から業界を理解してもらうための、公益性の高い活動、地域交流・貢献、環境問題への取り組みなど、積極的に進めていくことも必要

と述べた。これに対し、佐賀県会員の独自性を持った活動について、どのように進めていくべきかと質問。飯塚部長は、後継者育成並びに幹部社員教育、研修が大きな目的であり、活動を通して協会の向上・発展を図ることが求められている。この中から、いかにして青年部の独自性を打ち出すか、なかなか難しい部分も多いと感じており、思ったように進められない現状もある。今後は、電子入札などのIT問題を含め得意とする分野で積極的な活動を展開していければと、方向性を示した。このほか、指定管理者制度の現状では、目的や本県の状況・実情、提案書作成のポイントなどについて解説。このうち、地域社会・住民に對しいかにしてサービスを向上できるか・満足度を高められるかが大きなポイントと述べた。

ト。また、地域特性やニーズなどしっかり把握することも重要となると説明された。今後は、両県青年部が一致協力した活動を図る

大隅地区生コン協組曾於支部
運転マナー向上を



宣言書を読み上げる参加者代表

マナー向上と飲酒運転撲滅を再認識し安全運転を誓った。飲酒運転撲滅や交通安全を無くそうと、同支部の5社7工場の運転者

約100人が参加した。冒頭、村上理事長が「本日は、仕事が終わったからの講習会に参加してもらい感謝します。自己判断をせずにしっかりと運転をお願いしたい」と挨拶。続いて、曾於安全運転協議会の川畑三三会長が「皆さんが交通事故・飲酒運転撲滅の役割を担ってほしい」と述べ、飲酒運転撲滅宣言書を読み上げた。講話では、柏木涼二曾於警察署交通課長が交通ルールの確認事項、法改正等についての留意事項、飲酒運転事故に対する啓発活動と大型車両運転者の運転意

住宅総合展示場オープン
完成祝い発展誓う



村上社長は「創業40年記念として開館しました。工務店や大工さんにこの展示場を見てもいい施主さんに喜ばれる家造りが出来る橋渡しになればと考えています。50年に向けて頑張ろう」と挨拶。同館は、住宅に関するすべてが展示してあるが、特に2階建のモデルルームには壁や屋根など断熱パネルや建材が見えるように、完成途中のままの状態にしているのが特徴。建物はS造2階建延べ861・3㎡。開館前にテープカットする村上社長ら(左)＝鹿屋市の現地で

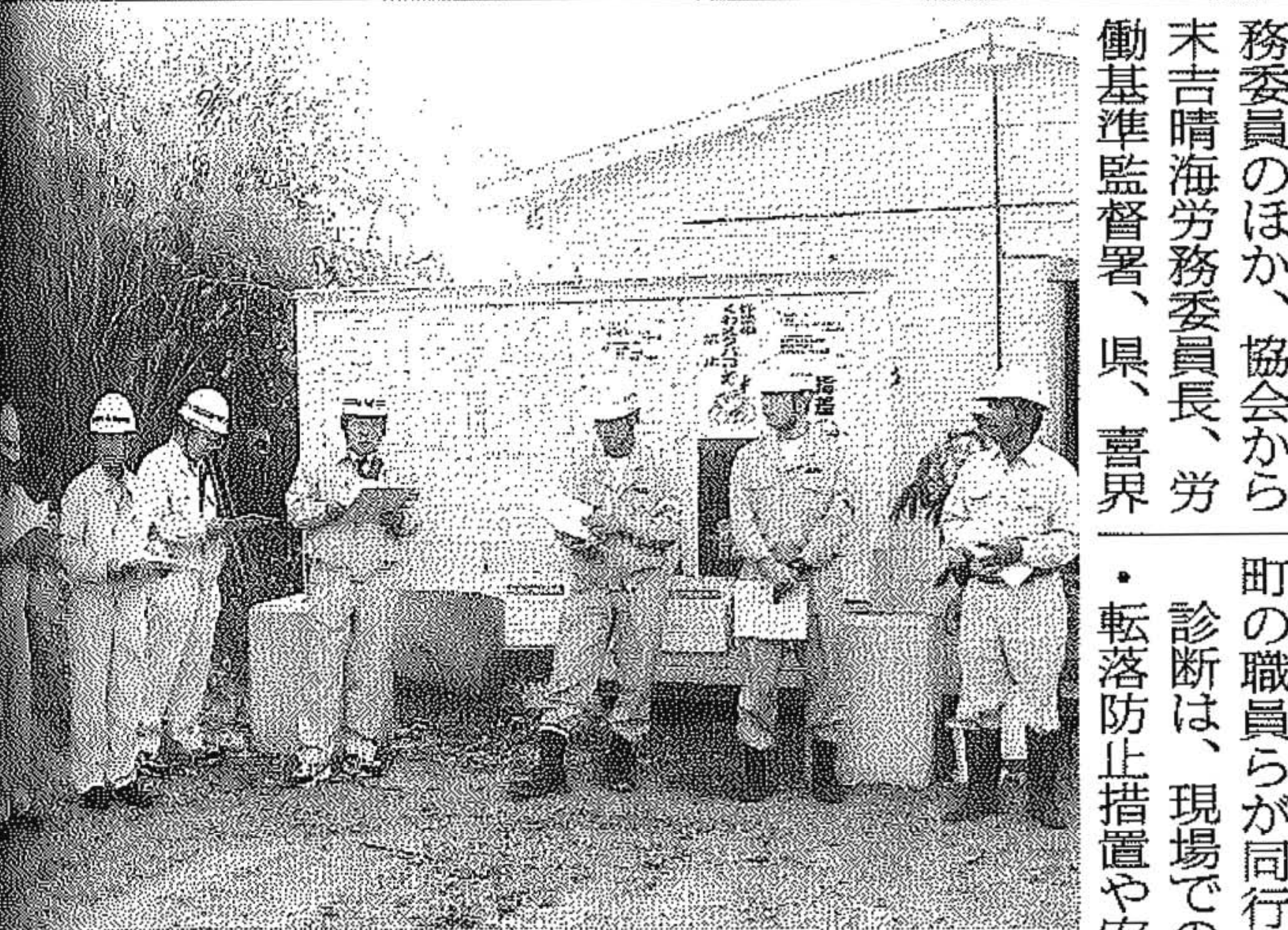
宣言書を読み上げる参加者代表。曾於市大隅町の大隅建設会館で

意事項について明解に話した。県内では1年間で約1000人の免許取り消し

県建設業協会奄美支部安全パト

良好な安全対策を確認

トロール診断を実施した。協会事務委員や発注機関職員など35人が参加。現場の災害防止対策や管理体制についてチェックした。巡回した現場は、喜界町発注の18年度喜界町公共下水道管施設・枝線1工区(喜界町池治・峰山建設)と県大島支庁農林課発注の海岸防災林造成事業(同町佐久下茂・榮建設)、県喜界事務所土地改良課発注の畑地帯総合整備事業・担い手育成型・ムチャカナ地区18の20(同町志戸桶・八照建設)、同18の20(同町佐久・榮建設)など。



重点項目等を説明する診断員
＝喜界町の現場で

町の職員らが行った。診断は、現場での墜落・転落防止措置や安全施工サイクル運動の実施、重機での有資格者の選任等を重点項目に実施。現場代理人から工事概要や進捗状況、作業時の安全目標等の説明を受けた後、診断員が現場や管理書類を細部までチェックした。終了後行われた反省会では、「トップの指導で現場も変わる」と総評し、おおむね良好な安全対策が図られていたことを確認。今後の対策として、重機の作業半径内への立ち入り禁止の指導や軽油・ガソリンなど有機溶剤の安全管理、建設共済への

天然の木の家完成

樹齢140年の地杉使用



建築工房匠(福迫健社長)は、湧水町の地元杉

てに使用した住宅を建設していたが、このほど無事完成した。本物にこだわった天然木の家とて生まれ育った樹齢140年の地杉を市場で購入し、丸太から製材し乾燥、製品までの一連の流れで実施。その結果、一般的な室内の柱、梁材などの構造材はもとより厚さ40mmの床板壁板、室内の木製建具(引き戸、建

SPACE HOUSE が鹿児島に
新登場

- ・簡単、スピーディーな作業
- ・安全性、快適性を重視
- ・コンセント、照明・換気扇付
- ・運搬時のコストダウン化

ハウス事業部

鹿児島支店
鹿児島市永吉町(アリーナ近く)
☎ (099) 250-5060 番
FAX (099) 285-5999 番

串木野支店
いちき串木野市さつま山(R3号線沿)
☎ (0996) 32-2839 番
FAX (0996) 32-4156 番

販売・リース 県下総代理店
中央仮設株式会社
☎ (099) 229-5900